



隼人の歴史がつなぐ

霧島市と災害時相互応援協定を締結

古代装束を身にまとい、盾・剣・弓を手に舞う中学生

10月14日、月読神社(大住池平)で大住隼人舞が奉納されました。

大住隼人舞は、7世紀ごろ南九州の大隅地方から京田辺の地へ移り住んだ隼人と呼ばれる人々が伝えたと言われ、「大住」の地名も「大隅」に由来しています。

今年、霧島市長も、石井市長と一緒に見学。舞人を務めた大住中学校の生徒が、盾伏(たてふせ)・振剣(ふりつるぎ)・弓など6種の舞を奉納する様子に「時空を超えたつながりに、古代ロマンへの思いをさせています」と話していました。

災害時の支援確保

児童・生徒の受け入れも

市は、10月15日に市役所で、鹿児島県霧島市と災害時相互応援協定を締結しました。市が遠隔地と同協定を締結するのは今回が初めて。想定される災害の種類が異なる遠方の都市と協定を結ぶことで、大規模な被害が発生した場合でも互いに安定した支援が確保できます。

同協定では大地震などで被災した場合、被災市の要請に応じて支援物資の提供、児童・生徒の受け入れ、職員派遣などを行うことを定めています。

これまで、霧島市とは隼人舞を通じた交流があり、今回の協定締結につながりました。石井市長は「市民の安全・安心がさらに一歩前進した。これを機に、霧島市との交流をもっと深めたい」と話しました。

問合せ先 安心まちづくり室 (☎64・1307)



調印式で握手を交わす前田霧島市長(右)と石井市長

隼人舞のふるさと 鹿児島県霧島市

霧島市は鹿児島県のほぼ中央に位置し、面積は約604km²で本市の約14倍。人口約12万8千人のまちです。風光明媚(めいび)な霧島連山・温泉など豊かな自然に恵まれ、霧島茶の産地としても有名です。

平成16年、本市の大住隼人舞保存会が当時の隼人町(現在の霧島市)に招かれるなど交流がありました。

平成25年には、大隅国建国1千300年を祝い、さまざま催しが行われる予定です。

京田辺産

玉露日本一奪還へ キャッチフレーズ募集

市は、来年の全国茶品評会での玉露産地日本一の奪還に向け、キャッチフレーズを募集します。

玉露の産地で知られる京田辺。伝統の技と豊かな風土で

培われた茶葉は、甘みとコクがあり大変おいしいと高い評価を得ていますが、同品評会では10年以上ほかの産地に日本一を奪われています。

来年は、開催地が地元京都

となるため、この機会に京田辺玉露の日本一奪還に向け、気運を高める熱いキャッチフレーズを募ります。

対象=どなたでも応募できます

規格=自由
季節を問わず1年中使用できるものが望ましい。

優秀賞(3点)=賞状・玉露茶器を贈呈します
また、作品はのぼりなどに使用します。

応募方法=はがきか電子メールにキャッチフレーズ・

説明・氏名(ふりがな)・住所・電話番号を書いて応募してください

電子メールはタイトルを「玉露キャッチフレーズ応募」としてください。

しめきり=11月30日(金)(当日消印有効)

発表=入賞者へ個別にお知らせするほか、12月ごろホームページなどに掲載します

申込・問合せ先=農政課(〒610-0393〈住所不要〉) ☎64-1362、メールアドレス nousei@kyotanabe.jp